

令和8年6月19日 議長挨拶（速報版）

※暫定的なものであるため、今後訂正される場合があります。

○議長（中本隆志君） 一言御挨拶を申し上げます。

本日、6月定例会が招集されましたところ、議員各位には極めて御健勝にて御参集を賜り、県政進展のため、誠に御同慶に堪えません。

まず初めに、本県議会は、米国・ニューヨークの国連本部で開催された2026NPT運用検討会議に参加するため、去る4月25日から5月3日にかけて、訪問団を派遣いたしました。

また、この訪問に併せて、現地のユニタール事務所や国際観光振興機構、自治体国際協会も訪問し、各機関の諸活動や訪日観光客の動向などの調査を行ったところであります。

NPT運用検討会議においては、加盟国間の交渉の場や横田知事が広島県知事として初めてスピーチを行う場に立ち会うとともに、本県が主催するサイドイベントなどに参加し、核兵器のない平和な世界の実現に向けた本県の取組などを発信してまいりました。

このたびのNPT運用検討会議においては、国際的な紛争や対立の激化、米国とロシアの核軍縮合意、新戦略兵器削減条約の失効、フランスの保有核弾頭増強の表明など、核兵器を取り巻く状況が一段と厳しさを増す中で、加盟各国の意見の隔たりが埋まらず、2015年、2022年に続き、3回連続で最終文書が採択されないという結果となったことは極めて残念ではありますが、県議会といたしましては、国際社会が対話の道を進み、実効的な核兵器廃絶への取組を実現できるよう、引き続き、あらゆる機会を捉えて国内外に強く求めてまいります。

さて、我が国の景気は、緩やかな回復基調が続いており、今後も、雇用と所得の環境改善や各種政策の効果がこれを支えていくことが期待されるではありますが、中東情勢をめぐる混乱が長期化する中で、米国とイランが戦闘終結に関して合意には達したものの、依然として予断を許さない状況にあり、先行きへの不透明感は払拭されておられません。

本県におきましても、エネルギーや原材料の価格高騰、石油由来製品等の調達難などが県民生活や事業活動に影響を与えることへの懸念は、引き続き残るところであり、県当局におかれましては、中小企業をはじめとした県内事業者や県民の皆様の不安解消に向け、全力で取り組んでいただきたいと思います。

次に、先月公表された令和7年国勢調査の速報値では、本県の人口は50年ぶりに270万人を下回り、前回の令和2年調査結果と比べて11万6,000人の減少、率として4.2%のマイナスとなっており、いずれも過去最大の減り幅となっています。

人口減少は、地域経済の縮小や担い手不足など、社会経済に深刻な影響を及ぼすものであり、地域の活力を維持していくためには、実効性のある施策を総動員して取り組む必要があります。

こうした中、今次定例会には、本県の総合計画として令和2年に策定した「安心 誇り 挑戦 ひろしまビジョン」の変更についての議案が提出されております。

この変更は、10年後を展望して策定した現行ビジョンが計画期間の折り返しを迎える中、この間の社会情勢の変化に対応するため、これまでの取組の成果や課題を踏まえて見直されたものであります。今後5年間の県政の基本的な方向性を決める重要な計画であり、県議会とい

令和8年6月19日 議長挨拶（速報版）

※暫定的なものであるため、今後訂正される場合があります。

たしましても、適切な結論が得られるよう審議を尽くしてまいりたいと思います。

また、本県では、本年4月から宿泊税を導入したところであり、この財源を活用して地域資源の魅力向上や旅行者の受入れ環境の充実を図ることにより、国内外から観光客を誘客するとともに、県内全域への周遊や滞在時間の増加を促進することなどが期待されるものであります。

さらに、先月には、世界最大級の酒類品評会である「International Wine Challenge」のSAKE部門の審査会が吟醸酒発祥の地として、本県で開催されたところであり、10月には、国際サイクリング大会、サイクリングしまなみ2026の開催が予定されております。

県当局には、こうした機会を最大限に生かして、本県の多彩な魅力を国内外に発信し、交流人口を拡大するとともに、事業効果を県内各地に波及させ、地域経済のさらなる活性化につなげていただきたいと思います。

さて、今次定例会に提出されます議案は、一般会計補正予算をはじめ、条例案など合わせて20件ありますが、いずれも県政の当面する重要案件であります。各位におかれましては、活発なる御審議を賜り、もって県民の負託に応えられますようお願いいたす次第であります。